

第45期モットー「お客さまに喜んでいただけるプロになろう！」Ⅲ
－5分前・前準備・後始末－

「幸せを願って」

NO.217

H. 24. 8. 10.
(株) ユ キ
ダスキン新居浜支店
社長 小野 正師

合掌 梅雨が明け、本格的な夏が続いています。冷たい物の取り過ぎ、食欲不振による夏バテにはお気をつけください。

さて、今日は8月6日(月)19:42です。実は、この NO.217、8月号はここまで書くテーマが決まらず、バタバタと他の用事も重なり、締め切り時間が迫って困っています。明日一番の JR で3日間の出張も決まっていますので、10日の給料袋に必ず入れるには、明日の早朝までには、絶対に仕上げなければなりません。この NO.217までの約18年間に一度だけ、代理を頼んだことがあります。それは、入院治療をしていて、最悪の体調悪化と精神状態だったため、書けなかったのです。今日は、体調も精神状態もよいのですが、パソコンの筆が進みません。ですが、今一番重要に思っていることをこれから強引に書きます。

私の机の上には、新しい世界にチャレンジをするための一枚の所信表明なる文章があります。この1ヶ月近く、悩みに悩んで、書き上げた自分の思い(念)です。提出締め切りは、8月21日ですので、これから何度か推敲して、更に練り上げていきます。これは、〇〇の立候補届けです。恥ずかしながら、私の今までの人生の中では、選挙という投票を伴う決定手段を選んだことはありません。JC(青年会議所)の理事長、商工会議所の副会長、教育委員等全て誰かの推薦や後押しをいただいて、やってきました。根っから、自己主張をして誰かと戦うことは苦手というか、いわゆる選挙は自分には合わないと避けてきました。しかし、今回は人生の集大成として、最後の新たな挑戦として、逃げることを、格好をつけることはせず、謙虚に自分の意思を通そうと思っています。

私は、ダスキンの仕事を母から受け継ぎ、それ以外の事業は一切せず、ダスキンだけ、ダスキンのみをやって一生を過ごしてきました。他の仕事はしませんでした。ボランティアは人の何倍もやってきました。私はダスキンに対しては自分の天職だと思い、ダスキンを愛し、ダスキンを信じ、ダスキンに惚れ込んでやってきました。小さいながらも社長として、多くの仲間や働きさん・店内スタッフさん・ハーティさん・ケアスタッフさんたちに助けられ今の会社が築かれています。多くの人に迷惑や心配をかけな

がら、厳しい中を何とか乗り切ってまいりました。もちろん、幾多の失敗や痛い目にも合いましたが、いつも誰かが、側にいる人がそっと助けてくれ応援をしてくれました。先祖の徳にも恵まれた運の強い男でした。

私は、この愛する会社や仲間を基盤に新分野、初めての職務にチャレンジいたします。以下が現段階での所信です。

『「ダスキンプランチャイズチェーン全国加盟店会 理事長立候補届出書」所信表明

私は、以下の2点を実現するため、D.F.C 全国加盟店会理事長に立候補いたします。

1. 100年続く企業への基盤づくり

来年(平成25年)、ダスキン本社は創業50年の大きな節目を迎えようとしています。企業の目的は永続にあり、100年先を見据えた経営情熱を常にもち続け、高邁な理想の追求と日々の実践が求められます。そのためにも、我々加盟店オーナーの「やる気」を呼び起こすことが重要です。課題や問題は限りなく存在しますが、組織の成否の99%はトップの力量で決まると言われています。まず、加盟店トップである我々から謙虚に真摯に事業に取り組み直すことです。私たち自らが、どうリーダーシップを発揮し率先垂範していくのか、どうやれば昔のようにオーナーの意欲を奮い立たせることができるのか、皆で考え話し合います。

2. 国家、社会、地域への貢献

まず、加盟店の健全経営を図り、雇用の創出と収益改善に努めます。次に、ダスキンの相応しい社会貢献事業のひとつとして、特に暮らしの快適化研究所による学校教育支援活動「出前授業」などは、おそうじを通して人間力を磨き、人格形成を培う、大変意義深い事業です。我々加盟店も資格を取り、地元の小中学校に入ることが大きな地域貢献となります。特に後継者を含む若手に、積極的に取り組んでいただきたいものです。ダスキンの得意分野であるおそうじを通じた喜びのタネまきが、日本独自の伝統文化を育み、青少年健全育成に寄与し、少しでも社会や世の中のお役に立つことのできる私たちでありたいと願っています。

以上、ダスキンを取巻く環境は大変厳しい状態にありますが、皆さんの英知と勇気と情熱を集め、本部と力を合わせ、100年続く企業の基盤づくりを行います。』

以上、今の心境を正直に書きました。自分を逃げられない所へ追い込むために書いたのかもしれませんが。私の全国ダスキンへの最後の恩返し、お礼返しとして全身全霊を打ち込み邁進しますので、宜しくご理解ご支援を申し上げます。 合掌